

総合技術研究会2029宇都宮大学の 開催について



2024年10月11日

関東甲信越地区技術職員懇談会

宇都宮大学 中澤育子

目次

1. 技術研究会について
2. これまでの経緯
3. 開催の概要（案）
4. 他大学、他機関の皆様へのお願い

1. 技術研究会について

- 総合技術研究会 500～1000人
- 技術研究会 100～ 200人
- 実験・実習技術研究会 300～ 500人
- 機器・分析技術研究会 200～ 300人

* 開催に際しては、「**技術研究会・総合技術研究会開催指針**」に沿いつつ、趣旨、会場、会期、参加資格、技術分野、要旨、報告書について機関の裁量で開催を進めるとしてあります。

年度	総合技術研究会	参加者数
2016 (H28)	3/9-10 東京大学	900人
2017(H29)	2/21-22 九州プレ大会	
2018(H30)	3/6-8 九州大学	
2019(R1)		
2020(R2)	3/3-5 東北大学	ハイブリッド 1100人
2021(R3)		
2022(R4)	3/9-10 合同開催 分子研、基生研、生理研	
2023(R5)	3/ 筑波大学プレ大会	
2024(R6)	3/5-7 筑波大学	500人規模
2025(R7)		
2026(R8)	東海国立大学機構 (多治見)	
2027(R9)		
2028(R10)	宇都宮大学	

2. これまでの経緯

2023.12 関東甲信越地区技術職員懇談会において、2028年度の開催地が決まっていないというお話

2024. 1 地理的に宇都宮での開催を検討できないかの打診 → **検討の検討開始**

2024. 3 運営協議会にて、不安事項の洗い出しを行う事、開催経験のある機関でサポートしていくという方向性を確認 → **具体的検討開始 各種調査（会場・学内体制）**
*半年をめでに検討結果を報告



7 臨時運営協議会 他大学の情報・本学の進捗報告 → **本学での開催の意向を報告**



2024. 9 臨時運営協議会の開催を依頼
学長より本学主催で開催の承認

2024.10（予定） 臨時運営協議会 **開催宣言**

3. 開催の概要（案）

開催日時 2029年 ①案 2/28(水)、3/1(木)、3/2(金)
 ②案 3/14(水)、3/15(木)、3/16(金)

参加費 4000円～5000円

開催場所 現地のみ 外部会場 と 陽東キャンパス

発表形式 口頭発表(発表15分、質疑応答5分) ポスター発表

想定人数 500人(筑波大参考) 口頭発表150人 ポスター発表200人

発表分野

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 01 機械・材料系, 製作技術分野 | 07 極低温技術分野 |
| 02 電気・電子・通信系技術分野 | 08 生物・農林水産系技術分野 |
| 03 情報系技術分野 | 09 生命科学技術分野 |
| 04 建築・土木・資源系技術分野 | 10 実験・実習技術分野 |
| 05 化学・物性評価系技術分野 | 11 地域貢献・技術者養成活動分野 |
| 06 特殊・大型実験, 自然観測技術分野 | 12 施設管理・安全衛生管理技術分野 |

日程	AM	PM
1日目		見学会(バスツアー)
		・大谷エリア ・附属農場 ・LRT関連施設 ・工業団地(各種工場) etc.
2日目	開会式 講演会	ポスター発表 情報交換会
	外部会場 (県もしくは市の施設)	外部会場 (県もしくは市の施設他)
3日目	口頭発表	口頭発表
	学内 陽東キャンパス	学内 陽東キャンパス

4. 他大学、他機関の皆様へのお願い

1. 当日のマンパワー的協力依頼

- 工学部技術部（14名）だけではマンパワー不足
（開催例では60人必要、アルバイト含む）
- 交流していただいている皆様に当日の運営ご協力をお願い
- 3日目口頭発表時の会場運営について（特に座長のご担当、ご依頼）
- 発表・聴講参加のお願い

2. これまでの大規模会合におけるノウハウのご教示

- 運営におけるノウハウ
- 要旨集等記録に関するノウハウ

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

